

## 令和5年度 学校経営計画書

学校番号	47	学校名	静岡県立藤枝西高等学校	校長名	竹村 祐
------	----	-----	-------------	-----	------

### 1 スクール・ミッション

校訓「自律 敬愛」のもと、キャリア教育を核として、人格の完成を目指し、地域や保護者に信頼され、生徒一人一人の多様な進路希望を実現できる学校として、主体性・協働性を育む多様な学び、豊かな感性と異文化理解の精神を育むグローバルプログラム、地域とつながるコミュニティ・スクール事業の3本柱を通して、地域や国際社会に貢献することができるグローバルな人材の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～</p> <p>「<u>人格の完成</u>」を目指し、<b>・【自律】</b>自ら課題を見つけ、解決しながら、未来を切り拓いていく力</p> <p><b>・【敬愛】</b>他者と協働しながら、自己の能力を発揮し、地域や国際社会に貢献する力</p>	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <p>・四年制大学を始めとする生徒の多様な進路に対応した学び・「<u>夢中</u>」になるAL（アクティブ・ラーニング）授業を通じた学び</p> <p>・『<u>究タイム</u>』（総合的な探究の時間）、キャリア教育を重視した特別活動を通して、総合的な学力の向上を図る学び</p>	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <p>・自主・自律の精神と他者への敬愛の気持ちがあふれる生徒</p> <p>・主体的・協働的に学ぼうとする意欲のある生徒</p> <p>・地域や国際社会に目を向け、課題を探究し貢献しようとする意欲のある生徒</p> <p>・元気で笑顔があふれる学校づくりに積極的に参画しようとする生徒</p>

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 教科横断的に「外化」の楽しみを伝え、生徒が「夢中」になる授業を実践し、「総合的な学力」の向上を図る。
- イ 将来に向けた夢を志にまで高める「キャリア教育」を実践して「自己理解」を深め、生徒一人一人の進路実現を図る。
- ウ 地域に愛される「自分から笑顔で挨拶ができる西高生」、主体的に考え行動する「活気ある学校づくり」を推進する。
- エ 豊かな感性、異文化理解の精神を育み、心身ともに健康的な学校生活を送るため、「指導・支援」の充実を図る。
- オ コミュニティ・スクールを通して、地域や保護者等との協働を図り、信頼される学校づくりを推進する。
- カ 生徒が安全・安心な学校生活を送るための教育環境を整え、学校安全3領域（生活・交通・災害）の意識を高めるとともに、教職員が心身ともに健康で、「縦の連携と横の協働」を図りながら、心理的安定のある職場環境づくりを推進する。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	教科横断的に「夢中」になるAⅠ授業の実践と総合的な学力の向上を図る。	<p>「外化」の楽しさを伝え、生徒が「夢中になる授業」を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の充実を図りChromebookの活用指導力を向上する。</li> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践や総合的な探究の時間「究タイム」の年間指導計画の策定及び組織的実践力の向上を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びを育てる授業改善を推進する。</li> <li>・教科横断的なカリキュラム・マネジメントを実践し、新教育課程の観点別評価規準及び評価基準を検証・改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業で積極的にICTを活用した」と答える教員の割合80%以上</li> <li>・「究タイムの意義を理解し、協働的に取り組むようになった」と答える教員の割合80%以上</li> <li>・「自分で考えたり表現したりする機会が増えた」と答える生徒の割合80%以上</li> </ul>	教務・情報 総務・図書 教科 学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習習慣を定着させ、「総合的な学力」の向上を図る。</li> <li>・「スタディサプリ」を活用し、学力向上に繋がる家庭学習習慣を身に付けさせる。</li> <li>・家庭学習計画や振り返りを個別面談等で支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後及び家庭で、平日2時間、休日3時間以上勉強している生徒の割合50%以上</li> </ul>	教務・情報 進路 学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向け、授業改善に取り組む。</li> <li>・「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツールを活用し、生徒の学力を的確に把握し、指導の検証・改善に結び付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定ツールで把握した学力に基づき、授業改善に取り組んだ主要3教科の教員の割合75%以上</li> <li>・「学力向上に向け、きめ細やかな学習指導が行われている」と答える保護者の割合70%以上</li> </ul>	教務・情報 進路 教科 学年
イ	キャリア教育とキャリアパスポートによる自己理解の深化と進路実現を図る。	<p>「自己理解」を深め、進路実現につながる指導を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別活動」の観点別評価規準及び評価基準を検証・改善する。</li> <li>・「キャリア教育」を重視した特別活動「LHR」の年間指導計画の策定、及び「キャリアパスポート」を活用した進路指導體制を構築する。</li> <li>・「1分間スピーチ」の意義を理解し、朝のSHRで取り組むことにより、表現力の向上を図る。</li> <li>・国公立大学推薦入試の有効活用を推進するとともに、大学入学共通テスト対策を講じた進路指導内容の精選を行う。</li> <li>・的確な進路情報を収集し、全職員で共有するとともに、生徒・保護者への積極的な情報提供に努める。</li> <li>・個別面談等を密に行い、進路意識の醸成、確かな進路目標の設定・実現への取組を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を通して、「進路希望がはっきりし、目標に向け勉強する習慣が付いてきた」と答える生徒の割合70%以上</li> <li>・「進路情報の提供が適切である」と答える保護者の割合70%以上、生徒の割合80%以上</li> <li>・大学入学共通テストにおいて全国平均点の差が昨年より縮小した科目が3科目以上</li> <li>・国公立大学合格者数13%以上</li> </ul>	進路 学年 CM委員会
ウ	笑顔で挨拶ができる西高生、主体的に考え行動する活気ある学校づくりを推進する。	<p>「主体的・自律的な生活態度」「品位と規律ある生活習慣」の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外でも正しく制服を着用できる、品位ある生徒の育成を図るため、自律を促す適切な声掛け指導を行う。</li> <li>・「自分から笑顔で挨拶する」習慣を身に付けさせるために、教職員がロールモデルとなり範を示す。</li> <li>・学校行事や生徒会活動、部活動等における、企画・立案・運営を通して主体性を育てる。</li> <li>・人権尊重の精神を育成し、敬愛の気持ち、いじめを許さない意識の高揚を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本的な生活習慣が身に付いた」と答える生徒・保護者の割合93%以上</li> <li>・「積極的に笑顔で挨拶する」範を示した教員の割合90%以上</li> <li>・「挨拶をきちんとする」と答える生徒・保護者の割合90%以上</li> <li>・「部活動は活発である」と答える生徒・保護者の割合92%以上</li> <li>・ボランティア活動（部活動での活動も含む）に参加した生徒の割合65%以上</li> <li>・いじめ0件</li> </ul>	生徒・保健 学年

様式第1号

エ	<p>豊かな感性、異文化理解の涵養と健康的な心身の保持・増進及び指導・支援の充実を図る。</p>	<p>「豊かな感性」、「異文化理解の精神」を育む取組を充実させる。          ・「毎日10分朝読書」を継続・発展し、4原則「みんなでやる」「毎日やる」「ただ読むだけ」「好きな本」を徹底するとともに、図書だよりの発行、学級文庫の設置等を通し、読書活動を推進する。          ・3年間の研究指定事業を継承し、「グローバルプログラム」として進化するとともに、異文化理解や国際感覚の向上を図る。</p> <p>健康的な心身の保持・増進及び多様性の尊重、指導・支援の充実を図る。          ・教育相談体制を強化し、支援が必要な生徒の情報共有及び、個別の指導計画等の作成を行い、学校全体で適切に対応する。          ・3年以上に及ぶコロナ禍の影響を受けた生徒の健康状態を把握するとともに、教育活動全体を通して、体力の向上を図る。</p>	<p>・「読書を通して感じることや考えることがあった」と答える生徒の割合80%以上          ・「国際交流に興味がある」と答える生徒の割合40%以上</p> <p>・「学校は悩みの相談に適切に対応してくれる」と答える生徒・保護者の割合85%以上          ・「学校は生徒の健康や衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者の割合90%以上</p>	<p>総務・図書 英語科 生徒・保健 教育相談 保健体育科 学年</p>
オ	<p>コミュニティ・スクール事業の推進及び生徒・保護者・地域・教職員との協働を図る。</p>	<p>「社会に開かれた信頼される学校」づくりを推進する。          ・「学校運営協議会」を通して、学校運営を推進する。          ・地域・学校協働活動の一体的実施を目指し、「コミュニティ・スクール」に係る校内研修を実施するとともに、生徒や近隣中学生が参加しやすいシステムを構築する。          ・PTA「コミュニティ・スクール委員会」等を活用し、保護者がコミュニティ・スクール事業に参加しやすいシステムを構築する。          ・学校運営の成果を数値で示す効果的な広報に努める。          ・学校HPやSNS、西高通信の発行等により、積極的な情報発信に努める。          ・中学生が「是非入学したい」と思う学校案内の発行及び学校公開の企画に努める。          ・「主権者教育」を通して、社会の一員として社会づくりに参画し行動する生徒を育てる。</p>	<p>・コミュニティ・スクール事業の活動内容や意義を理解し、「コミュニティ・スクール事業は藤枝西高校の魅力である」と答える生徒、保護者の割合75%以上          ・「西高通信」を毎学期発行し、近隣自治会へ回覧、HPに掲載する。          ・主権者教育を通して「投票に行こう」と考える生徒の割合80%以上</p>	<p>総務・図書 生徒・保健 広報担当 地歴公民科 学年</p>
カ	<p>安全・安心な教育環境、心理的安定のある職場環境づくりを推進する。</p>	<p>「命を守る教育」、「教育環境の整備」、「心理的安定のある職場環境づくり」を推進する。          ・「元気に、笑顔で、仲良く、厳しく！」を働き方スローガンとして、縦の連携と横の協働を図る。          ・C-learning 活用による効率的運営や各分掌業務の見える化を図り、チーム西高の組織力を向上する。          ・突発的な校内防災訓練の実施、地域防災訓練への積極的な参加を促す。          ・スマホ安全教室や交通安全教室等を実施する。          ・清掃活動を充実し、校内美化を推進する。          ・既存施設設備の点検・保全に努める。          ・「消費者教育」を通して、消費者被害の未然防止を図る。</p>	<p>・不祥事発生件数0件          ・「藤枝西高に勤務して良かった」と誇りを感じている」と答える教職員の割合80%          ・地域防災訓練や校内防災訓練、探究活動等を通して、「災害時における自分の役割を自覚した。」と答える生徒の割合60%以上          ・自転車交通事故13件以下          ・「校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる」と答える生徒の割合80%以上          ・消費者教育を通して消費者被害の防止について理解した」と答える生徒の割合70%以上</p>	<p>生徒・保健 総務・図書 家庭科 事務部 学年 管理職</p>